C-13「どうなる魚の未来？」

～食品エコラベルを通して SDGsを学ぼう～

講義担当：サステナビリティ教育研究会

講座対象者	□小学校低学年　■小学校中学年　■小学校高学年 □放課後施設利用児童　■中学生　□高校生　□大学生　■地域一般		
授業活用例	小学校高学年社会「我が国の農業や水産業」家庭「環境に配慮した生活」 中学校「消費生活・環境についての課題と責任」		
関連のある SDGsのゴール	2,3,12, 14,15,17	オンライン授業	■可　□不可
対応可能曜日	■平日　■休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	9:00～17:00		
年間実施上限数	5 回		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（パワーポイントにて授業を進めます。モニターが必要　） ■ワークショップ（　グループにて発表　） □自然体験（　　）		
講座所要時間	90 分（講義・クイズで 60 分ワークショップ 15 分まとめ 15 分）		
実施条件、必要な準備等	プロジェクター・スクリーン・モニター・マイク他話し合いで		

講座内容

1）講座の目的

身近な食を切り口に SDGsを学び、持続可能な食生活の実践につなげます。

2）内容

①簡単なゲームを行い、魚への関心を高めます。（アイスブレーク 10 分）

②世界で魚が減っていますが、消費量は増えています。このことを簡単なゲームで説明します。

③持続可能な魚や紅茶、コーヒーのエコラベルを紹介し実物を手に取って見ます。

④エコラベルと関係する SDGs を結び付け発表します。

問合せ先（サステナビリティ教育研究会　TEL：09011163635
メールアドレス：ehiyo123060@gmail.com　）